

2003年5月27日

東京外国為替市場委員会 第63回会合 議事録

開催日時	2003年4月23日 13:00～15:20
場 所	日本銀行本店 新館9階大会議室
議 長	荻野 哲司 (東京三菱銀行)
副 議 長	小林 和成 (スチート・ストリート銀行)
副 議 長	加島 章雄 (みずほコーポレート銀行)
書 記	川添 敬 (日本銀行)
参加委員数	17名 (別紙)

委員選任の件

荻野議長(東京三菱銀行)より、以下の報告がありました。中島 Code of Conduct 小委員長(スタンダード・チャータード銀行)の委員としての任期(2年)が満了したこと、及び、中島委員から再任のため立候補する意思が示されたこと、先の加藤委員(野村證券)の辞意の表明を受けて、委員の公募を行ったところ、下記の方から立候補者届があったこと。

河野 文彦 (野村證券)

これらを受け、各立候補者の提出書類に基づく審査、所信表明を経て、委員による投票が行われた結果、各立候補者とも全会一致で選任されました。

委員選任後、中島委員が Code of Conduct 小委員長に立候補し、全会一致で選任されました。

Code of Conduct 改訂関連

中島 Code of Conduct 小委員長(スタンダード・チャータード銀行)より、以下の報告がありました。

- 1) 付録の NDF 関連箇所について、NDF 小委員会での検討を経て、以下の変更を行った。変更箇所に関するチェック・コメントについては、5月2日(金)を締め

切りとしたい。

付録1「外国為替・資金市場取引用語集」

- ・「NDF取引に特有の用語」について、市場用語とマスター契約で用いられるISDA用語に相違がある場合について、注意を喚起する文章を挿入するとともに、両者を併記する形に改めた。

付録2「取引の基本動作と留意点」

- ・「NDF取引」、b)「仲介業者経由の場合」についての取引具体例を付け加えた。

- 2) 先日、特定の取引がHRRに該当するか否かに関する質問を受けたが、Code of Conduct 改訂版の公表後には、外部からの照会も増加することが予想されるため、これに対する受付・回答の手順を整理する事が望ましい。

なお、2)の点については、運営小委員会で再度検討することになりました。

・小委員会活動報告

各小委員会について、以下の通り報告がありました。

1. 運営小委員会

野手小委員長（三井住友銀行）より、以下の通り報告および提案があり、提案については承認されました。

- 1) 当市場委員会の現行の綱要（「東京外国為替市場委員会綱要」）については、文言が実状にそぐわない点をふまえ、作成時（1997年）の弁護士意見書を参考にし、改訂作業に取り掛かりたい。（新綱要の公表方法は今後検討。）

- 2) 「外国為替証拠金取引協会」（仮称）設立準備を進めている関係者から、協会設立後、市場調査小委員会へオブザーバーを派遣したい旨の要望が寄せられた。

これを受けて、2)の新協会との関係のあり方については、次回市場調査委員会でその可否を検討することとなりました。

2. 教育小委員会

今井教育小委員長（UFJ銀行）より、以下の通り報告・提案があり、提案については承認されました。

- 1) 6月を目途にセミナーを開催したいと考えている。講師にエコノミスト、ストラテジストを迎え、対象としては為替の初級者を想定している。
- 2) 日本フォレックスクラブの協力が得られれば、11月に多数の参加者が期待できる著名人を招いてセミナーを開催したい。具体案をつめた後、フォレックスクラブへの働きかけを開始したい。

- 3) Code of Conduct 改訂版発行に際して、別途、外部向けに説明の機会を用意したい。(形式等については今後検討。)

3. 広報小委員会

神田小委員長(ロイタージャパン)より、以下の提案があり、承認されました。

- ・ 当市場委員会ホームページへの外部からのリンクに伴う閲覧者の混乱を避ける為に、市場委員会綱要第3条(「当委員会の目的」)をホームページに掲載することに關しては、綱要改訂作業の進展を待つこととしたい。

4. 市場調査小委員会

加島小委員長(みずほコーポレート銀行)より、以下の通り報告がありました。

- 1) 財務省「円の国際化推進研究会」委員の中島厚志氏(みずほコーポレート銀行調査部長)を招き、同研究会報告書の内容について解説していただいた。
- 2) 中島部長の説明と問題提起を踏まえ、外為市場参加者の視点から、「我が国の金融・資本市場の金融センターとしての活性化」に向けた施策に關して活発な議論が行われた。
- 3) 具体策としては、円の対アジア通貨マーケットの充実等が挙げられた。
- 4) 次回小委員会では、以前の調査に基づき各国金融市場と東京市場の比較を行うとともに、小委員会の今後の活動の方向性について自由討議をする予定。

5. NDF 小委員会

稲村小委員長(シティバンク)より、以下の通り報告がありました。

1) アンケート関連

未回答の10先(11人)について再度回答の依頼を送付。またコンファメーションの標準化や、マスター契約への組み入れについて、どちらでもよいとした先に、その理由に關する追加的なアンケートを実施。

国内外のアンケート結果及びコメントを、国内外の回答先と各国市場委員会(シンガポール・香港・ソウル・ロンドン・フランクフルト・ニューヨーク)に送付予定。当市場委員会および日本フォレックスクラブのホームページにも掲載予定。

コンファメーションの雛形の作成については、ニューヨーク・シンガポール両市場委を中心に設立されたWGの作業との兼ね合いを考慮しつつ継続。4月末に行われるコンファレンス・コール(後述)等を通じて具体的なスケジュールを確認し、予想される進捗状況と比較して、雛形の作成が意味を持つかについて次回小委員会で議論する。

- 2) Code of Conduct 付録のNDF 関連箇所について検討し、小委員会案を提出済み

(. Code of Conduct 改訂関連を参照)。

- 3) シンガポールおよびニューヨーク市場委員会を中心として “ ASIAN NDF Working Group Meeting ” のキックオフ・コンファレンス・コールが開催される予定 (4 月 28 日 ニューヨーク時間午後 6 時 = 4 月 29 日東京時間午前 7 時)。当方の対応等は以下の通り。

東京サイドからは、稲村小委員長と小委員会メンバーの今井健一氏 (東京三菱銀行) が参加予定であることに加え、各市場の現地邦銀にスタッフの参加を要請。応諾を受けたものについては各市場委に通知済。

コンファレンスにて、NDF アンケート内容の紹介を行うことを検討。

6 . CLS 小委員会

市川小委員長 (みずほ銀行) より、以下の通り報告がありました。

- 4 月 15 日に小委員会を開催し、3 月 25・26 日に発生した CLS 決済トラブルについて、CLS 東京事務所の土屋氏より、事象・原因・対応等に関する説明を受けた。これに対し、小委員会から CLS 銀行への要望・意見を以下の通り伝達した。

CLS 銀行には、自身が既に為替市場における主要インフラになっているとの自覚を促したい。こうしたトラブルが続いたり、トラブル処理方法への不満が高まると、今後のサードパーティ参加者数にも影響が出てこよう。トラブル発生後の対応のうち、カレンシー・クローズ・デッドラインの延長が間に合わなかった点と、コンペンセーション方法を各参加者の個別交渉に委ねようとした点は、判断が甘いと言わざるを得ない。今回の経験を教訓に、コンティンジェンシー・プランやコンペンセーションのペストプラクティス・ペーパーに書き込んで頂きたい。

取引再持込の自動化等、システム対応の検討・強化をお願いしたい。

再発防止策並びにコンティンジェンシー・プランの整備をお願いしたい。

なお、これらの進捗状況については、本委員会宛に書面で回答して頂くか、本委員会席上でのご報告を頂きたい。

. その他

- 1) 荻野議長から、居村オブザーバー (東京三菱銀行) が退任し、後任は寺澤オブザーバー (東京三菱銀行) となる旨、報告がありました。また、寺澤新オブザーバーは法律問題・CLS 各小委員会に所属し、居村前オブザーバーは改訂 Code of Conduct が完成するまで引き続き同小委員会に所属することもあわせて報告されました。
- 2) 中田オブザーバー (日本銀行) より、香港市場委員会との交流に関し、以下の

報告がありました。

- ・香港市場委員会より、当市場委員会の体制に関するアンケートの回答に対して謝意が示された。また、先方の作業結果に関するフィードバックが得られる予定。

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (4月23日現在)

< 委員 >

議長	荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長	加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	小林 和成	(ステートストリート銀行)
書記	川添 敬	(日本銀行)
運営 E コマース小委員長	野手 弘一	(三井住友銀行)
広報小委員長	神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
教育小委員長	今井 雅人	(UFJ 銀行)
法律問題小委員長	武田 敬一郎	(三菱信託銀行)
CLS 小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF 小委員長	稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	河野 文彦	(野村証券)
	花生 浩介	(ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド)
	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
	竹川 雅祥	(メッセリッチ日本証券)
	伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハロー)
	大木 一寛	(EBS ディーリングリソースジャパン)

< オブザーバー >

野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
中田 勝紀	(日本銀行)
寺澤 英光	(東京三菱銀行)
竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略 (順不同)。 は今回出席。